九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

Econometric Analysis of the Relationship between Economic Growth and Rural Income Distribution in China

何, 燕

https://doi.org/10.15017/1470515

出版情報：九州大学, 2014, 博士（経済学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

（様式６－２）

氏　　名	何　燕
論　文　名	Econometric Analysis of the Relationship between Economic Growth and Rural Income Distribution in China （中国における経済成長と農村収入分配の計量経済分析）
論文調査委員	主　査　　九州大学　　教授　　佐伯　親良 副　査　　九州大学　　准教授　瀧本　太郎 副　査　　九州大学　　准教授　浦川　邦夫

論　文　審　査　の　結　果　の　要　旨

本研究は，中国の近年の農村収入分配に関する計量経済学の手法を用いた実証分析であり，1990年代から2000年代後半までの期間に収入分布がどのように推移してきたかを推定し,これらが中国の急速な経済発展とどのような関係があるかを分析することに焦点を当て，また，マクロの集計データとは別にマイクロデータによる分析を行い，農村収入分布の要因分析を行ったものである．本論文の構成は次のようである．第1章は研究の目的，第2章はこれまでの研究に関する包括的なサーベイ，第3章は収入分布の推定，第4章は収入分布が経済成長に影響を及ぼすかの検証，第5章は経済成長が農村収入分布に影響を及ぼすかの検証，第6章はマイクロデータに基づく収入分布の分解，終章は分析結果のまとめである．

本研究の特徴は中国の収入，所得分布に関する包括的なサーベイに基づき，農村地域の収入分布の研究は少ないこと，また，中国の戸籍制度に基づくモビリティの制約を考慮した収入分布の分析がほとんどなされていない点に注目し,分析を進めた点にある.収入分布の尺度としてジニ係数，Theil尺度等が広く利用されているが，本研究では直接これらを計測するのではなく，Dagum分布関数の推定によりこれらの集中度係数を導出している．推定されたジニ係数は本研究の一つの基軸指標であり，この係数の時系列変動から農村収入の不平等度が拡大してきていることを明らかにしている.経済成長とジニ係数で示される収入分布の因果関係について本研究ではGrangerの因果性テストを利用し，この期間における経済成長と収入分布の相互依存関係を明らかにしている．経済発展により家計の収入分布がどのように影響されるかはKuznets の提唱した逆U 字仮説によって広く知られているが，本研究では収入分布が経済成長に影響を及ぼすことを計量経済学の方法に基づいて検証した点は一つの新たな試みとして評価できよう．他方，経済成長が農村地域の収入分布に影響を及ぼす点については，直接的な影響に加えて，中国の戸籍制度に焦点を当てている．この制度は人口移動のモビリティに制約を課すものではあるが，近年，地域間の人口移動は増加し，所得移転を通じて農村地域の家計の収入分配の格差が拡大してきている点を実証的に明らかにしている点は新しく，今後の研究にも有用な情報，視点を提供するものと評価できる．本研究は更に，農村地域に焦点を当てたマイクロデータに基づき，回帰分析ベースの集中度係数の分解を行い，地域要因，性別などが収入，集中度に影響を及ぼしていることを明らかにしている．ただし，マイクロデータの場合，所得なしと回答しているケースの取り扱いなど課題が残されている点もあるが，本研究は中国の農村地域における収入分布の実証研究に新たな知見を提供するものと評価できる．

以上の点から，本論文調査会は，何　燕氏より提出された論文「Econometric Analysis of the

Relationship between Economic Growth and Rural Income Distribution in China」（中国における経済成長と農村収入分配の計量経済分析）を博士（経済学）の学位を授与するに値するものと認める．